

## 会社概要 (2021年9月30日現在)

商号	イー・ガーディアン株式会社 E-Guardian Inc.
代表者名	代表取締役社長 高谷 康久
設立	1998年5月
資本金	36,428万円
従業員数	連結2,167名(うち臨時従業員数1,621名)
本社	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F TEL: 03-6205-8857 FAX: 03-6205-8858
関連会社	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ EGセキュアソリューションズ株式会社</li> <li>■ EGテストサービス株式会社</li> <li>■ E-Guardian Philippines Inc.</li> <li>■ E-Guardian Vietnam Co.,Ltd.</li> <li>■ イー・ガーディアン東北株式会社</li> </ul>

## 株式情報 (2021年9月30日現在)

### 株式の状況

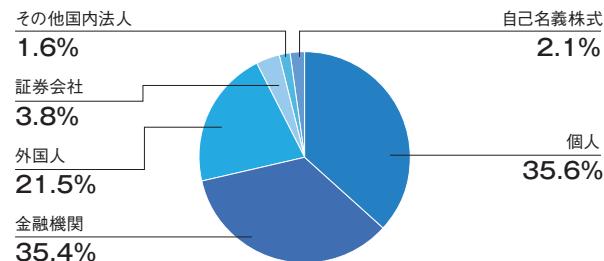
発行可能株式総数	32,400,000株
発行済株式の総数 [うち自己株式214,302株]	10,405,800株
株主数	8,154名

### 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,315,900	12.91
株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口)	851,180	8.35
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	744,938	7.31
株式会社日本カस्टディ銀行 (信託口9)	741,300	7.27
高谷康久	661,904	6.49
J. P. MORGAN SECURITIES PLC FOR AND ON BEHALF OF ITS CLIENTS JPMS RE CLIENT ASSETS-SETT ACCT	248,200	2.44
野村信託銀行株式会社 (投信口)	240,400	2.36
イー・ガーディアン株式会社	214,302	2.10
株式会社日本カストディ銀行 (証券投資信託口)	144,700	1.42
上田八木短資株式会社	143,700	1.41

(注)1 持株比率は自己株式を控除して計算しております。  
2 持株比率は小数点第2位未満を四捨五入して表示しております。  
3 自己株式には、役員向け株式交付信託が保有する当社株式(157,780株)は含まれておりません。

## 所有者別株式数の分布状況



## 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月に開催
株主名簿管理人	〒100-8233 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL: 0120-782-031(フリーダイヤル)
公告方法	電子公告とする。 やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、 日本経済新聞に掲載して行う。

電子公告掲載URL  
<https://kmasterplus.pronexus.co.jp/main/corp/6/0/6050/index.html>



イー・ガーディアン株式会社  
<https://www.e-guardian.co.jp/>

〒105-0001  
 東京都港区虎ノ門1-2-8 虎ノ門琴平タワー8F  
 TEL:03-6205-8857 FAX:03-6205-8858



証券コード: 6050

# We Guard All

トップメッセージ | 高谷 康久

ネットセキュリティにおける  
**トップブランドへ**

株主・投資家の皆様へ

**E-G通信** 2021年9月期  
 2020年10月1日~2021年9月30日

成長市場を的確に捉え、  
引き続き増収増益を達成しました。

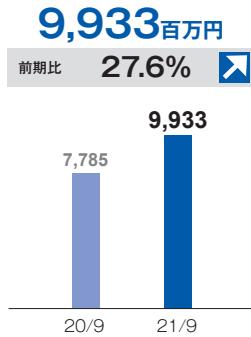
このインターネット社会が続く限り、セキュリティ市場が拡大していくことは疑い得ません。ネットセキュリティの全方位にわたって1つひとつのサービスを作りこんでいる当社にとって、この市場の拡大を追い風としつつ、ネットセキュリティといえばイー・ガーディアンだと誰もが認めるトップブランドに高めてまいります。株主の皆さまの一層のご支援を賜りますように、お願いいたします。



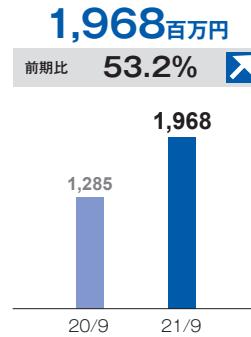
代表取締役社長  
高谷 康久

業績ハイライト

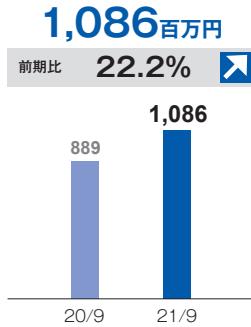
売上高



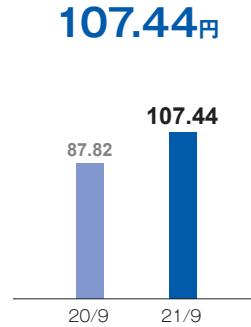
営業利益



親会社株主に帰属する  
当期純利益



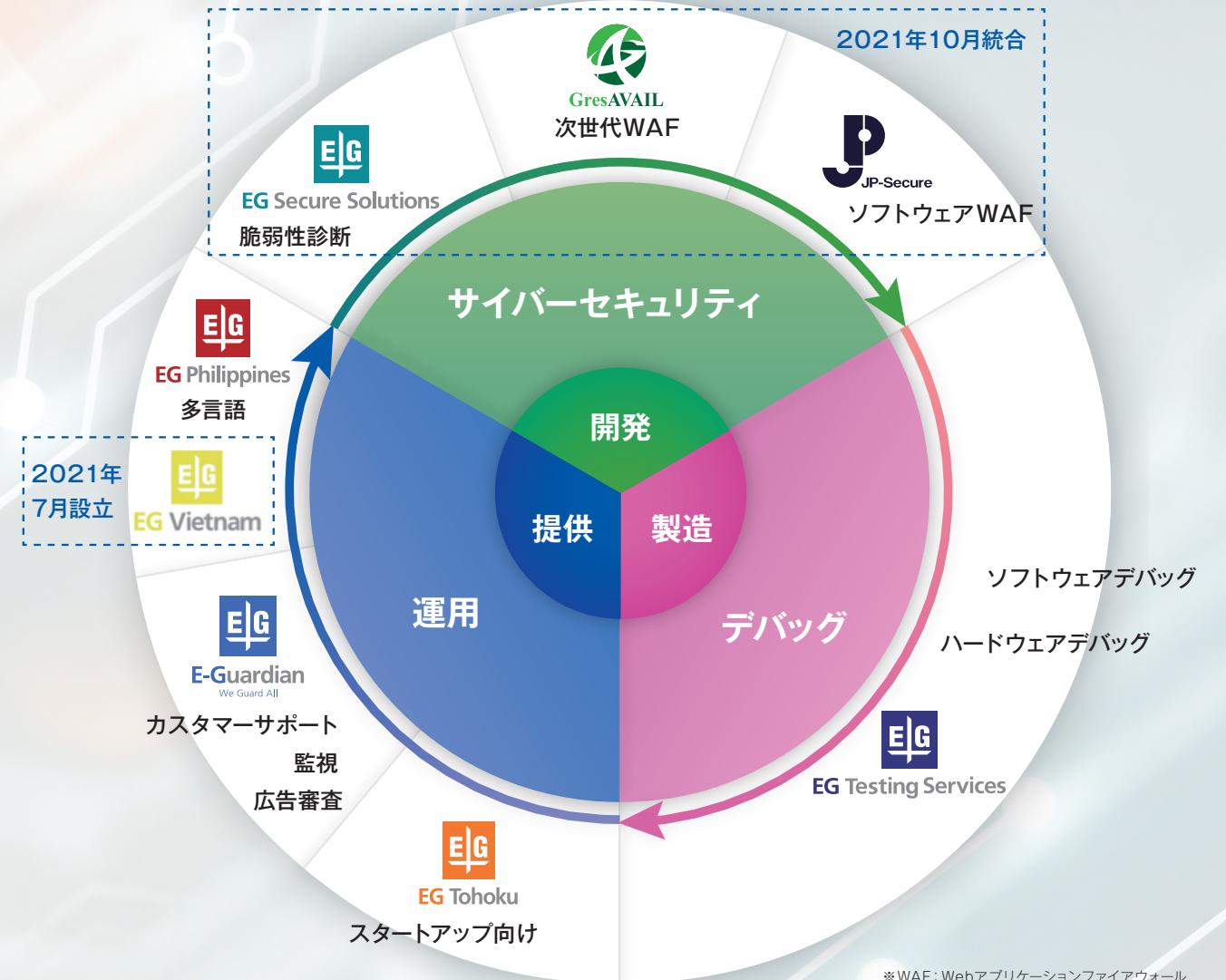
1株当たり当期純利益



Point 引き続きソーシャルサポート分野が伸長

新型コロナウイルスの影響によるリモートワークの増加や外出自粛によって、インターネットサービスには大小様々な影響が出ております。その中で、当社はコロナ禍においても成長を続ける動画領域に注力いたしました。これまでに蓄積したノウハウにより高効率を実現し、売上を拡大いたしました。

インターネットサービスを上流から下流まで支える  
セキュリティのワンストップサービス



## ソーシャルサポートやサイバーセキュリティの拡大が続き、今後は、全方位に布陣した強みを活かして、ネットセキュリティにおけるトップブランドを確立します。

### 2021年通期の業績について どのように評価されていますか。

売上は99億円となり、88億円の期首目標はもちろん96億円とした上方修正をも超過達成することができました。営業利益についても大きく増加いたしました。

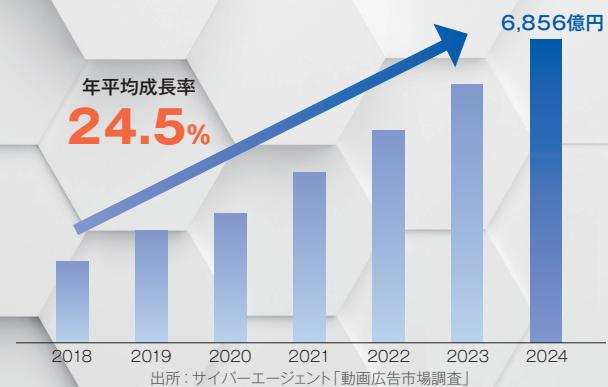
これには、ソーシャルサポート分野が大きく貢献しています。ソーシャルサポート分野は前年比1.5倍に伸びています。その6~7割は動画監視が占めています。

大きなトレンドとして、若い人のテレビ離れによって動画へのシフトが起こり、これにコロナ禍が重なって自宅で動画を見る時間が増えたと見えています。

また、フィンテック関連も伸びています。主にスマホ決済導入時における店舗情報のチェック業務です。マッチングサービスでの本人認証技術を転用し、事業領域を拡大いたしました。さらに、フリーマーケットアプリ等のCtoC案件も増加し、業績拡大につながっています。

### 成長市場獲得に引き続き注力

#### 動画市場推移



### ゲームサポート分野については いかがでしょうか。

日本のゲーム業界全体が伸び悩んでいる状況を反映して、対前年比で微減でした。主に、若い人のゲームに費やす時間が相対的に減少して、動画を見ている時間が増えています。加えて日本のゲームメーカーがヒット作に恵まれていないことがあります。ただ、当社はインターネットサービス全方位にシフトしていますので、1つの分野の伸び悩みが業績全体に大きく影響することはありませんでした。

### アドプロセス(ネット広告の審査) 分野についてはいかがでしたか。

アドプロセスは対前年比で順調に増加しました。業務の拡大が見通せるため港区赤坂にAd Process Labを開設しました。赤坂は広告代理店も多く立地する土地柄なので、ここを拠点として営業活動を展開するとともに、広告人材育成の研修センターとしても活用していきます。

### サイバーセキュリティ分野については いかがでしたか。

前期は大きく伸びました。国内トップシェアの純国産ソフトウェア型WAF製品を提供するジェイピー・セキュ

アが第1四半期から連結決算となったため、その年間売上の約3億円が上乗せになったことが大きな要因です。サイバーセキュリティ分野の売上約6億4千万円の半分弱を占めています。

また、従来からの脆弱性診断の売上も対前年比約1.5倍となり、マーケット全体も拡大傾向が続くことは必至であるため、その伸びを逃さずフォローしていきたいと考えています。

さらにイー・ガーディアングループ内のサイバーセキュリティ関連3社を2021年10月にEGセキュアソリューションズへ統合しました。この統合によりサイバーセキュリティ分野での成長にさらにドライブがかかると確信しています。

## サイバーセキュリティ事業のグループ再編図

### 9月以前のグループ体制



脆弱性診断・コンサルティング  
セキュリティ教育



クラウド型WAF  
開発・販売



ソフトウェア型  
WAF開発・販売

### 10月以降のグループ体制



脆弱性診断・コンサルティング  
セキュリティ教育  
クラウド型WAF開発・販売  
ソフトウェア型WAF開発・販売

吸収合併

吸収合併

## 子会社グレイスアベイルの不祥事について。

2021年8月にグレイスアベイルにおきまして、元代表取締役による不正行為が発覚いたしました。

株主および投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

社外取締役及び外部専門家を中心に構成される調査委員会を設置し、多面的に事実関係の調査を実施しましたところ、結論として、当該元代表取締役による不正行為として、①不適正な支出行為、②不適正な債務負担行為、及び③これらに連動する粉飾行為が認められました。

当社におきましては、当調査委員会からの指摘を真摯に受け止め、全社をあげて、子会社に対する管理監

督強化、M&Aにおけるデュー・デリジェンスの強化、当社内部監査部門の強化及び子会社経理業務フローの見直しといった再発防止策を実行し、信頼の回復に努めてまいります。

## ベトナムでの子会社設立についてはいかがですか。

2021年7月にベトナムにE-Guardian Vietnam Co.,Ltd.を設立いたしました。設立直後からスムーズに稼働を始めています。会社規模も今期中には現在の10倍以上に当たる100人程度にまでは拡充していく計画です。

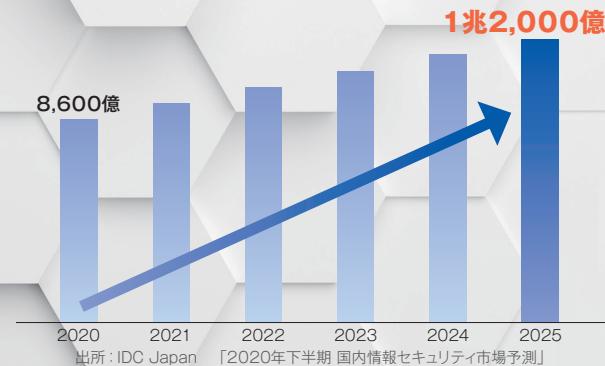
## 東京証券取引所のプライム市場創設についてどうお考えですか。

当社は現在東証一部に上場しており、プライム市場への移行条件も十分に満たしています。すでに社内で承認を得て、移行申請を行いました。

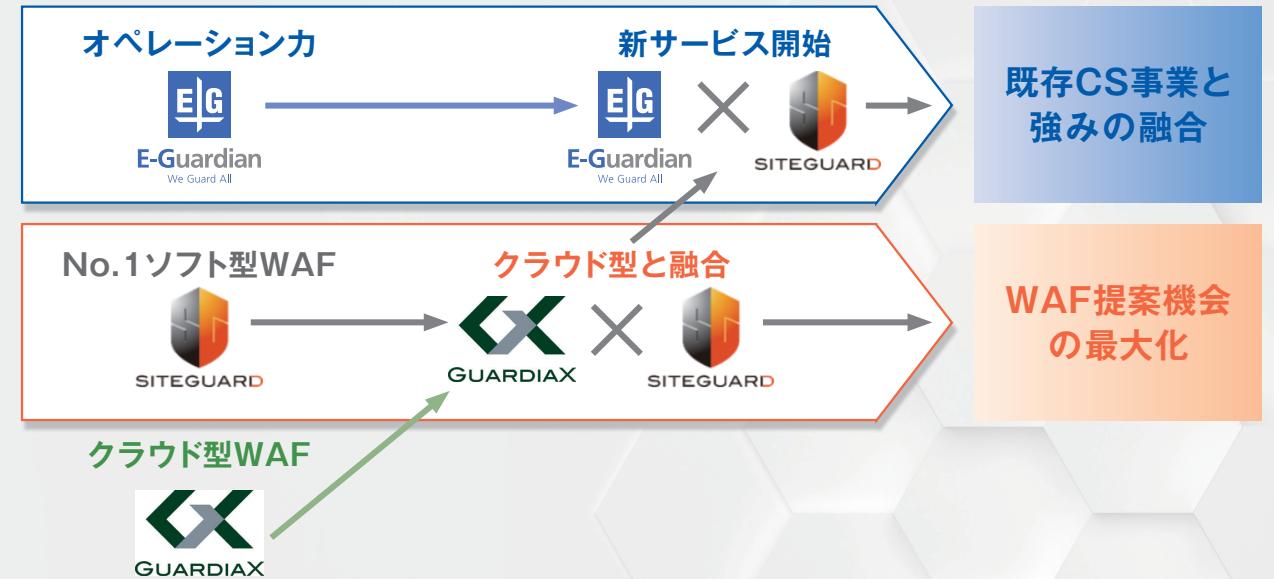
選ばれたポジションに引き続き位置することになるので、投資家の皆さまにとっても評価しやすいメリットがあると考えています。

## セキュリティ市場における成長余地は大きい

### 国内セキュリティサービス市場



## 技術の融合によるサービスラインナップ拡大



## 投資家へのメッセージをお願いします。

当社は成長段階にあるため、東証一部上場までは成長のための再投資を優先してきました。しかし業績の順調な拡大を踏まえて、成長と安定した株主還元の両立を目指すこととしました。その一環として、今年8月に4円の増配と自社株買いを発表しました。増配に関してはこれまで毎年1円ずつ増配を行ってまいりましたが、好業績を踏まえて4円増配としました。自社株買いについても業績の推移を見据えつつ、今後も機動的に実施してまいります。株主の皆さまの一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長  
高谷 康久

